

令和6年第4回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問項目	質問項目
1(7番) 坂口 勝彦	1 「マイナ保険証」の普及と利用促進について	(1) 「マイナ保険証」の利用促進に向け、正しい情報発信に取り組むべきでは。
		(2) 「施設等に対するマイナンバーカードの取得支援」の取組状況は。
		(3) 高齢者施設や高齢者世帯などに支援を周知し、推進していくことが重要と考えるが、本市の見解は。
2(14番) 八尋 一男	1 本市におけるごみ減量と脱炭素の取り組みについて	(1) 第三次筑紫野市環境基本計画の見直しの進捗状況について尋ねる。
		(2) 国は2030年度温室効果ガス2013年度比46%削減を目指しているが市はどんな方策を検討しているのか。
		(3) 一般質問答弁で「燃やすしかないごみ袋」等ごみ減量の対策を検討するとあったが、その進捗について尋ねる。
		(4) フードドライブ等フードロスの取組について、現在の状況と今後どのように取り組んでいくのか尋ねる。
		(5) 戸建て用置き配BOX設置の支援策やワンルームマンション用宅配ロッカー義務付け条例化の市の見解は。
	2 観光の振興について	(1) JR二日市駅市民ホールは何のためにあるのか、その存在意義を果たしていないと考えるが見解は。
	(2) 市民ホールにエアコンを設置すべきと強く感じるが設置計画はないのか伺う。	
	(3) レイアウト、展示の仕方、外国人も含めた情報発信、観光案内所等の運営方法はどのようにしていくのか尋ねる。	
3 スポーツ振興について	(1) スポーツ推進と避難所の観点から農トレや小中学校体育館にエアコン設置を行うべきと思うが市の見解は。	
3(17番) 西村 和子	1 コミュニティ基本構想、基本計画の見直しについて	(1) 6月の委員会で報告された見直しの経緯において全てのコミュニティの現状に触れられなかった理由は。
		(2) 二日市以外の6コミュニティの現状と課題はどのように把握し、対応していくのか。
		(3) 市とコミュニティの対等な関係の構築はどのように考えているのか。
		(4) コミュニティセンター業務とコミュニティ協議会運営を一体化する考えはないか。
4(10番) 段下 季一郎	1 里親制度の推進について	(1) 県と連携し里親制度の広報を充実すべきでは。
	2 子育て支援について	(1) 虐待予防の切り札である里親ショートステイ事業を実施すべきでは。
		(2) トワイライト事業（児童夜間養育事業）を実施すべきでは。
		(3) 親子入所等支援事業（親子ショートステイ）を実施すべきでは。
	3 障害児支援の充実について	(1) セルフプランについてどのように考えているか。
		(2) 障害児への居宅介護、同行援護、行動援護の事業を充実すべきでは。
	4 学校教育の充実と子どもの居場所づくりについて	(1) 「チーム担任制」を導入すべきでは。
		(2) 小中学校へ作業療法士を配置すべきでは。
		(3) 小学校の早朝の開校で子どもの居場所づくりをすべきでは。

令和6年第4回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
5(3番) 春口 茜	1 小中学校における男女平等実現について	(1) 性の多様性、PMS、出産への理解等を含む性教育を男女共に受講する出前講座の実施をすべきでは。 (2) 小中学校のトイレに生理用品の常時設置をすべきでは。
	2 ファミリーサポートの充実について	(1) 「病児・緊急対応事業」を導入すべきでは。 (2) 1時間当たりの利用料金が近隣市(大野城市、太宰府市、那珂川市、小郡市)より高い理由は。 (3) 1時間あたりの利用料金を近隣市と同等にし、差額を市が負担してはどうか。 (4) 利用料を3人目からは無料にしては。 (5) 調理場等がある公共施設や空き家を利用し、預かりスペースの確保をしては。 (6) 保育関係の大学と連携し有償ボランティアとして日常的な受け入れと養成をしては。
6(8番) 山本 加奈子	1 認知症の人に寄り添った地域社会の構築について	(1) 認知症サポーター講座の更なる展開や「新しい認知症観」を定着させ、啓発資料の作成・配布が必要では。 (2) 認知症の人の尊厳ある暮らしを守るケア技法「ユマニチュード」の普及が必要ではないか。 (3) インターネットによる交流も含めた地域における認知症ピアサポートの環境整備が必要ではないか。 (4) 行方不明者の生命を守るためGPS端末や杖や衣服等に貼れるQRコードシールの普及啓発を。
	2 リチウム蓄電池等の小型充電式電池の拠点回収について	(1) 火災事故等の未然防止のためにも、行政によるごみ収集ステーション等での回収が必要ではないか。 (2) 環境省の啓発動画やポスター等の広報素材を活用し積極的な周知広報が必要ではないか。
7(2番) 古賀 新悟	1 健康保険証のマイナンバーカードへの一本化について	(1) マイナンバーカードの取得及び、マイナ保険証の登録は、執拗に進めるべきではないが、本市の考えを尋ねる。 (2) 本市は、来年以降、マイナ保険証の登録がない人への資格確認書は、申請がなくても発行するのか尋ねる。 (3) 意思に反してマイナ保険証を登録したが、使いたくない人への対応はどうするのかを尋ねる。
	2 異常な猛暑により影響を受けた家計への支援について	(1) 長引く物価高の中、家計への支援として水光熱費の助成を行うべきだが、本市の対応を尋ねる。
8(16番) 宮崎 吉弘	1 小中学校のプールの水について	(1) 本市も含め全国各地でプールの水止め忘れによる事故が多発しているが、どのように受け止めているか。 (2) 再発防止の為にどのような措置が考えられるのか。 (3) 水止め忘れ事故を防ぐため、自動止水機の活用をすべきでは。
9(6番) 檜木 孝一	1 農業の振興について	(1) 本市農業の強みと課題をどのようにとらえているか。 (2) その特徴を活かしてどのように今後の農業振興に結びつけていく考えなのか。 (3) 半農半X・多業農家などへの新たな支援策の検討結果はどうか。 (4) 地域計画づくりでは、10年後にめざす農地の姿となっている。その間に離農した場合等の対応策は。 (5) 環境負荷を減らした農業への転換として有機農業の推進が必要。補助金等の促進策が考えられないか。 (6) 生産基盤安定のためにスマート農業の推進が有効。補助金等の奨励策が考えられないか。

令和6年第4回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
10(12番) 前田 倫宏	1 こどもの居場所・遊び場について	(1) 猛暑日が多発する中、夏の期間中のこどもの居場所・遊び場についての考えは。 (2) 河川で安全に遊べるように河川の整備など検討できないか。
	2 高齢者等の買い物支援について	(1) 中山間地域や高齢化が進む団地など、買い物が困難な方への支援の考えは。 (2) 買い物支援として、移動販売、買物場の開設、移動手段提供などの考えは。 (3) 「福岡県移動スーパー参入促進費補助金」を活用することで買い物支援などに繋がると考えるが、見解は。
	3 スポーツの振興について	(1) スポーツ推進計画の策定に関し、新たなユニバーサルスポーツやアーバンスポーツなど考慮されているのか。 (2) オリンピックで関心が高まっているアーバンスポーツ施設整備に関し、どのように考えているのか。
11(9番) 吉村 陽一	1 災害時の対応について	(1) 災害時要支援者の個別避難計画の進捗状況を伺う。 (2) 災害時要支援者の個別避難計画はいつまでに完成するのか。 (3) 要支援者名簿は個人情報のため地域全体で把握出来ていない現状があるが地域の連携を強化すべきではないか。 (4) 災害時に女性が避難しやすい避難所運営を行い周知すべきではないか。
	2 在留外国人の対応について	(1) 外国人の生活を総合的に支援する外国人総合支援コーディネーターを養成し設置すべきではないか。 (2) 外国人の生活相談や情報提供を多言語で行うワンストップ型窓口である一元的相談窓口を設置すべきではないか。 (3) 在留外国人の子どもで市内の小学校・中学校に通っている不登校の状況を把握しているか。
12(5番) 赤司 祥一	1 就農促進・離農抑制のための農業施策について	(1) 就農意欲喚起や移住促進、営農資金サポートまで含めた、新規就農支援の更なる充実・推進が必要では。
		(2) 筑紫野市を代表する歴史ある農作物である生姜に関して、もっと農家の支援を充実させるべきでは。
		(3) 生産緑地制度の導入を本市においても検討していくべきでは。
		(4) 県及び認定鳥獣捕獲等事業者へ働きかけ、獣肉処理加工施設と連携し、鳥獣対策とジビエ肉普及ができないか。
13(18番) 辻本 美恵子	1 健康づくりにむけた運動習慣を広げるための取り組みについて	(1) 運動習慣のための社会資源として市内にはどのようなもの、こと、施設があるか。 (2) 市として、どのようなプログラムを進めているか。 (3) 市民への広報はどのようにしているか。 (4) 現状で、運動習慣を広めるための課題をどのように考えているか。 (5) より多くの市民が運動習慣をつけるための推進体制が必要ではないか。
	2 困難な問題を抱える女性への支援について(国・県の方針をうけて)	(1) 支援の対象となる方の把握はどのようにするのか。 (2) 相談体制は、現在どのような状況であるのか。 (3) 生活の安定に向けた支援について、どのように考えているのか。 (4) 女性の人権を尊重するための教育・啓発はどのようにしているのか。 (5) 支援の基本計画策定について、どのように考えているのか。

令和6年第4回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
14(15番) 田中 允	1 光が丘、美しが丘、天拝坂、山家地区等の西鉄バスの路線廃止問題について	(1) A I デマンド交通について市民に分かりやすい説明ができていますか。 (2) 実証について対象地区の住民の方に説明会等実施されたのか。 (3) 実施されたのなら理解されたのか。また、どのような意見や要望がでたのか。 (4) A I デマンド交通の先行取組みをしている自治体の調査はなされたのか。 (5) 赤字補填で運行している路線の補填の増額や、他の路線への赤字補填等の検討の余地はないのか。 (6) 新規参入等の検討はできないのか。
	2 小中学校の教員に行われたアンケート調査について	(1) アンケートの回答と、その対応はどのようなものか。
	3 介護職員の処遇改善を求める陳情書について	(1) 市として独自の対策の必要性を求められているが、市の基本的な考えは。 (2) 市内の社会福祉法人等で働く介護職員への介護職支援金の支給について、市の対応は。 (3) 市内の社会福祉法人等で働く介護職員への家賃補助について、市の対応は。 (4) 市内の社会福祉法人等で新たに介護職員として就職する者への就職奨励金の支給等について、市の対応は。
	4 J T 跡地について	(1) 取得ならず残念な気持ちは理解できるが、一方、買わなくてよかった面もあると思う。市長の見解は。 (2) 取得に充てる予定の70億円に新規参入企業の税収で立派なスポーツ施設を建設しては。市長の見解を求める。 (3) J T 跡地に関連して市が関わるような事はないのか。